

II 体験学習に適したフィールド調査

(1) 銀山平キャンプ場ブナ林

① 地区の概要

この地区は越後三山只見国定公園指定地内で水源涵養保安林指定地でもある。

また、奥只見湖と広大なブナ林地帯の観光名所としても知られている地区である。

すぐ近くに、奥只見湖銀山平船着場、銀山平キャンプ場があり、春から秋まで、万年雪遊歩道とともにハイカーやキャンプパーに親しまれているブナ林である。

ブナ林遊歩道の入り口広場には、平安時代の伝説物語尾瀬三郎中納言藤原房利の石像が建っており、古の伝説に触れることもできる。

② ブナ林の主な構成樹種

ブナ : 胸高幹周囲 100~175cm

他 ミズナラ : 胸高幹周囲 80~115cm

ホーノキ : 胸高幹周囲 80~130cm

高木: ブナ、ミズナラ、トチ、ホウノキ

中木: イタヤカエデ

灌木類: ウワミズザクラ、ウリハダカエデ、ノリウツギ、オオバクロモジ、ヒメモチ、エゾユズリハ、ウスノキ、タニウツギ、コミネカエデ、ヤマウルシ、ヒメアオキ、リョウブ

下草: イワウチワ、チシマザサ、ツルシキミ、クロヅル、ミツバアケビ、ショウジヨウバカマ

④ 遊歩道

L=350m

W=1.0m~1.5m~4.0m (駐車場から尾瀬三郎像広場まで)

よく管理された歩道である。

遊歩道をゆっくり歩いて1時間ほどでブナ林を一周できる。

かなり階段工が設置されているが、雨上がりのタイミングでは階段工がないところは、滑りやすいので注意が必要である。

⑤ 地形の特徴

標高は、駐車場で765m、ブナ林入り口尾瀬三郎石像の広場で780m、ブナ林展望広場で810mである。

距離的、標高差的にも誰もが、春の芽吹き・新緑から、夏の緑とブナ林特有の涼しさ、秋の紅葉を楽しめるエリアである。

この辺一帯がブナ林地帯である。

⑥ 体験可能なプログラム

イ) 自然観察………植物観察、ブナ林の植生(ブナを中心に高木→カエデ等の中木→ウワミズザクラ等の灌木類→イワウチワ等の下草から構成されている)

ロ) ブナの木を観察………ブナの木の樹幹の水の吸い上げ、ブナの木の特徴、実→発芽実生→競争により自然淘汰→大木となりブナ林を形成)

ハ) ブナ林の保水力を実感できる。

- 二) 五感で感じるブナ林の体感 (風、鳥の声、木漏れ日……………森林浴)
- ホ) 鳥の巣箱設置観察



ブナ林入り口の尾瀬三郎の石像。ブナ林全景



歩道両側のブナ林